

会議結果報告書

令和7年6月25日

会議の名称	令和7年度 第1回 志木市地域自立支援協議会 全体会
開催日時	令和7年6月17日(火) 10時00分～12時00分
開催場所	志木市市役所 中会議室2-1、2-2
出席委員	平野方紹会長、田中一副会長、北澤恭子委員、小澤静枝委員、松田健太委員(代理)平井光代氏、上田将史委員、渡邊徹委員、大橋稔委員、佐々木明子委員、日下喬史委員、平澤純委員、市沢志保委員、岡田修一委員、太田寛隆委員、小石川良子委員 (計15人)
欠席委員	寺橋義雄委員、鎌田昌和委員、田中孝幸委員、村田敬吾委員 (計4人)
説明職員氏名	共生社会推進課 課長 高山佳明、主査 砂井智光 (計2人)
傍聴者の数	あり(1名)
議 題	(1)報告事項 ①「第5期障がい者計画」「第7期障がい福祉計画」「第3期障がい児福祉計画」について ②相談支援事業の実績報告 ③障がい者虐待通報・差別防止件数報告について ④令和6年度 部会活動報告 ⑤日中支援型グループホームの評価について (2)協議事項 ①部会の再編成について ②令和7年度活動方針・スケジュールについて (3)その他
結 果	議事録のとおり
事務局職員	共生社会推進課 課長 高山佳明、主査 砂井智光、 基幹福祉相談センター 主任 野末奈緒美、主任 川嶋祥子
審議内容の記録(審議経過、結論等)	
事務局	開会挨拶、資料の確認
事務局	委嘱状交付及び会長、副会長の選任
会長	平野会長挨拶

【議事】

(1) 報告事項

①「第5期障がい者計画」「第7期障がい福祉計画」「第3期障がい児福祉計画」について

事務局 資料1に基づき進捗説明。

委員 進捗管理シートについて、進捗度が分かりやすい表記があると、委員や市民がよりわかりやすくなるように感じた。

会長 評価する立場によって結果の相違が生じると思われるが、その点も含めて議論する意味にもなると感じた。

事務局 次回の進捗管理シートでは、進捗度を示す表記を入れる。

②相談支援事業の実績報告

基幹 資料2-1に基づき説明。

委託 資料2-2に基づき説明。

委員 委託相談について、人員体制や相談内容の詳細を知りたい。

委託 相談員は3名。福祉サービス利用者が多いが、福祉サービスの利用がない方や、ひきこもり傾向になる方からも相談あり、必要に応じて社会資源の提案や福祉サービスに繋がっている。

③障がい者虐待通報・差別防止件数報告

事務局 資料3に基づき説明。

委員 施設職員が自ら通報するのは相当なことだと思われるが、認定が0件も違和感がある。

委員 虐待はあってはならないことであり、施設職員からの通報4件を重く受け止めなければならぬと感じた。

事務局 他市と事実確認や施設訪問を行った事例もあり、虐待の事実を聞き取り等では、確認することができなかった。調査をすることで施設の体制改善、虐待防止につながることを目指している。一方で、潜在化している事例は相当数あると思われ、通報には至らないが、虐待の芽になる可能性がある場合の対応は課題と考える。

会長 虐待は今後も継続して協議が必要な課題である。虐待が起きる前の予防が大切。実害が出てからでは遅いので、芽を摘むにはどうしたらよいか考えていく必要がある。

④令和6年度 部会活動報告

委員 暮らし部会報告について、資料4に基づき説明。

委員 ビジョン部会報告は資料なし。昨年度は2回会議を実施した。令和3年度に作成した福祉ハンドブックは、学校での福祉教育で活用していないことが分かった。部会で協議した結果、防災時に役立つハンドブックの作成について提案があった。各団体の協力の元作成する必要があるが、当事者団体や家族会のない精神障がいや発達障がいの方の意向のくみ取りに課題が残った。また、各団体がどのようなハンドブック作成を希望しているのか確認する課題が残った。

委員 保護者と地域の資源を話し合う際、市のハンドブックを活用することが多い。作成する際

は、ぜひ実用性のあるものが出てくると良い。

委員 精神障がいや発達障がいを疑う方の就労相談が増加傾向にある。就職が難しい方の支援にも活用できる冊子も良いと思う。

⑤日中支援型グループホームの評価について

事務局 資料5に基づき説明。対象の2事業所に今年度は試行的に実施していく。

(2) 協議事項

①部会の再編成について

事務局 資料6に基づき説明。

委員 部会運営を基幹のみで行うのは相当大変ではないか。当事者団体の意見交換は必要。

委員 3つの計画に基づいた課題をどの部会で協議するのも考えたい。

委員 部会の会議が沢山あるようなので、これら全てに参加は難しい。

委員 医療的ケアの必要な児童だけでなく者(大人)についても協議出来る場があると良い。

委員 まずは新体制で活動してみるのも良いのでは。

委員 体制再編は前向きに捉え、まずはやってみてはどうか。委員が意見を言える場にし、市の福祉の向上に繋がると良い。

委員 各部会の活動で抽出された課題をどのように全体会にて協議するか課題。

委員 プロジェクトとして有志で活動している人が多かったが、ようやく部会化された。課題解決に向けて少しずつ整理できると良い。当事者の方も来ていただければと思う。

委員 4つの部会に分けることで専門性が高くなる印象がある。最終的にどう集約するのか課題だが、部会で完結できればそれも一つと思われる。

委員 現在活動しているプロジェクトは全て網羅が出来ている。今後、どのように活動していくか協議を続け、新たな課題が出た際は更に再編する方法もよいのでは。

会長 部会再編成については十分な議論の期間が必要と思われる。部会のありかた、議論のありかた、その効果などを含め、今年度は試行期間としてはどうか。

②令和7年度活動方針・スケジュールについて

事務局 資料7に基づき説明。

委員 各会議は、委員以外の職員(障がい者の施設等)なども参加可能か。

事務局 是非参加していただきたい。

委員 会議の詳細や日程については、委員に事前に情報提供をしていただきたい。

事務局 周知する。

(3) その他

事務局 第5期志木市地域福祉計画、第6次地域福祉活動計画の概要版を配布。令和7年度から5年間の計画となっている。